校長室だより

「ハッピー通信」19号　令和4年9月7日

兼次小に三線の音が響いています♪

昨年還暦を迎えた同窓生から三線十挺を寄贈していただきました。
その同窓生のひとりで三線師範の与那嶺直樹さんが、特別支援員として今年1月に本校に赴任しました。それからは、毎日お昼休みになると三線に興味がある子どもたちが中庭のベンチに集まり、直樹先生といっしょに♪てぃんとぅんてん♪と、三線を奏でています。とても心癒やされる時間です。

役場前交差点の
大型モニターでも紹介
されていますよ～

運動会に向け
かぎやで風を練習中

9/6琉球新報

合格発表後に喜ぶ（後列左から）与那嶺直樹さん、長屋陸さん、仲里清太郎さん、（前列左から）大城七海さん、天久ことはさん、與那嶺栄路さん、須藤暖人さん＝8月6日、うるま市民芸術劇場

兼次小6人 琉楽奨励銅賞

今帰仁「夏休みの快挙」に地元沸く

【今帰仁】今帰仁村兼次小学校（上間久仁校長）の5年生6人が8月6日、うるま市民芸術劇場で行われた琉球古典音楽野村流音楽協会（同会主催）の第16回琉楽奨励賞で、琉楽奨励銅賞に挑戦し、全員が合格した。「夏休みの快挙！」と学校や地域で明るい話題となっている。

挑戦したのは大城七海さん、天久ことはさん、與那嶺栄路さん、須藤暖人さん、長屋陸さん、仲里清太郎さん。指導した同校支援員で同協会師範でもある与那嶺直樹さん(61)は「一つの学校から6人全員合格は珍しいと思うが、子どもたちはよく頑張ってくれた」と目を細めた。6人を代表し天久さんが「舞台上が明るく、目の前の審査委員たちに、とても緊張したがやり切った」と笑顔で話した。

与那嶺さんは昨年4月に仕事を定年退職した後、10月ごろから三線教室を開いており「子どもから多くの方々にもっともっと沖縄の素晴らしい三線文化を広めたい」と興味のある方々に呼び掛けている。

問い合わせは与那嶺直樹研究所☎090(5088)5374。

（新城孝博通信員）